

支援業務諮問委員会（第18回）議事概要

1.開催月日 平成24年3月2日（金）14:00～15:00

2.場 所 社団法人電気通信事業者協会 第2会議室
（東京都港区西新橋1-1-3 東京桜田ビル4F）

3.出席者

【委員】（五十音順、敬称略）

河村真紀子、久保忠敏、齊藤忠夫（委員長）、鈴木良之、関口博正（副委員長）、

中川裕、西尾武、平澤弘樹、 以上8名

（欠席 小椋敏勝、加藤薫、徳永順二、藤田元 4名）

【社団法人電気通信事業者協会】

奥山八州夫（専務理事）、岸忠信（支援業務室長）

4.議事

（1）審議事項

・平成24年度事業計画及び収支予算（案）

（2）報告事項

・平成23年度交付金の交付及び負担金の徴収状況

・平成24年度の合算番号単価・番号単価の修正の見込み

5.議事要旨

委員長

（開会宣言）

（事務局に、出席状況の報告方指示）

事務局

（諮問委員12名中8名出席で定足数を満たしており、本会議は成立している旨を報告）

（委員長の指示により、資料の有無を確認）

委員長

それでは、審議事項の平成24年度事業計画及び収支予算(案)について、事務局が

ら説明願います。

事務局

(資料1に基づき、平成24年度事業計画及び収支予算(案)について説明)

委員長

ただいまの説明内容についてご意見ご質問等ございませんか。

予算の中が大きく変わる部分は、新番号単価についての周知広報を年間2回行うということで、前年度より約1,600万円増加するということですね。

なお、TCA全体の予算とユニバ関係の予算との費用の割り振りはどうしているのですか。例えば家賃や人件費の配分などですが。

事務局

最初のユニバ関係予算を策定する段階で配賦基準を決めておきまして、人件費については、関係職員ごとの職務内容でTCA本体とユニバとの関与度合により、また、家賃や光熱費につきましては使用スペースにより配賦比率を決めております。

ユニバ関係の予算規模は大きいですが、その予算の99.5%は負担金収入と交付金支出の素通りになっております。実際の支援機関の事務経費は8,000万程度であり、そのうちの約半分が周知広報関係の経費となっております。

ユニバ関係予算は、総務大臣の認可事項ですので、関係審議会でもチェックされることになっております。

委員長

今回の予算案は、周知広報費は増加しているが、その他の項目については全般的な見直しによって、最大限削減しているということですね。

副委員長

ユニバ関係の予算については、25年度以降も引き続き資金ベースで作成することになるのですね。

事務局

TCA全体の予算は、25年度以降も損益ベースで作成されますが、ユニバ関係については従来通りに資金ベースに組み替えて作成することとなります。

委員

周知広報関係の支出というのは、大まかにいってどういう内容になりますか。新聞広告だけではないですね。

事務局

新番号単価等に関する広告は、公開入札を行って、全国紙5紙と各都道府県の県紙の合計53紙の朝刊に広告を掲載するとともに、47NEWS加盟の全国紙及び各県紙の50社のホームページに1ヶ月間バナー広告を掲載しております。この両方で1回当たり約1,700万円の予算となります。それ以外には、支援機関のホームページでの周知、チラシの配布、親子見学会や消費者団体への説明会の実施の経費を計上しています。

今回増額した番号単価の修正分につきましては、先程の新聞広告と各新聞社のホームページへの広告掲載に絞って行うものです。

委員長

コールセンターの経費は、周知広報予算には入っていないのでしょうか。

事務局

コールセンターの予算も、毎年約990万円の予算を周知広報予算の中に計上しております。

委員長

周知広報経費の中には、新聞等への広告以外にコールセンター、ホームページ、チラシ、親子見学会等の予算が入っているが、今回の番号単価修正の関係で増額したのは新聞等への広告分だけということですね。

それでは、諮問のとおりの内容で了承したいと思います。答申案をお配りします。ご意見・ご質問はございませんか。特になければこの内容で答申することといたします。

次に報告事項ですが、2件まとめて事務局よりご説明願います。

事務局

(資料2に基づき、平成23年度交付金の交付及び負担金の徴収状況について
資料3に基づき、平成24年度の合算番号単価・番号単価の修正の見込みについて説明)

委員長

来年度の番号単価が、また上がったりはあるのですか。

事務局

次年度の番号単価がどうなるかは、現時点ではわかりません。

他にご質問ご意見等ないようでしたら、以上で、第18回支援業務諮問委員会を終了いたします。ありがとうございました。